

兵庫県沿岸地域における災害時避難のための地域評価と可視化

Regional assessment and visualization for disaster evacuation plan in coastal areas of Hyogo Prefecture

*王尾 和寿¹、花里 俊廣¹、チョ 秋霞¹、温井 達也²

*Kazuhisa Ohbi¹, Toshihiro Hanazato¹, Qiuxia Chu¹, Tatsuya Nukui²

1.筑波大学、2.(株)プレイスメイキング研究所

1.University of Tsukuba, 2.Placemaking Institute Inc.

東日本大震災の津波被害を契機に自然災害発生時の避難計画の重要性が認識されている。南海トラフ巨大地震の発生による被害が想定される兵庫県沿岸地域では、津波避難ビルの指定など、避難のための計画が推進されているが、有効な避難計画作成のためには、地域の自然的および社会的特性に応じた詳細な計画の立案が必要である。本研究では地形的条件、コミュニティの状態、避難距離、避難施設の立地状況などの視点から対象地域を分類し、その評価を行った。また、それぞれの地域特性から避難計画に関する課題を提示した。

キーワード：避難計画、南海トラフ巨大地震、地域特性

Keywords: Evacuation plan, Great NANKAI Trough Earthquake, Regional characteristics